平成25年２月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年７月11日

上 場 会 社 名	(株)さいか屋	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	8254	URL	http://www.saikaya.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 取締役社長兼社長執行役員	(氏名)	岡本　洋三
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員経理部長	(氏名)	足立　進　(TEL) 044(211)3157
四半期報告書提出予定日	平成24年７月11日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年２月期第１四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年５月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第１四半期	9,871	4.4	283	186.5	208	―	211	―
24年２月期第１四半期	9,456	△29.8	99	△70.1	0	△99.8	△18	―

(注) 包括利益　25年２月期第１四半期　198百万円(　―%)　24年２月期第１四半期　△63百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第１四半期	6.78	4.96
24年２月期第１四半期	△0.59	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年２月期第１四半期	24,625	2,832	11.5
24年２月期	25,103	2,626	10.5

(参考) 自己資本　25年２月期第１四半期　2,832百万円　24年２月期　2,626百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	―	―	―	0.00	0.00
25年２月期	―				
25年２月期(予想)		―	―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	20,300	2.7	500	2.4	340	10.8	340	16.1	10.89
通期	41,000	1.9	910	△0.0	570	0.2	570	△17.7	18.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期１Ｑ	31,353,142株	24年２月期	31,353,142株
②　期末自己株式数	25年２月期１Ｑ	127,628株	24年２月期	127,362株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期１Ｑ	31,225,617株	24年２月期１Ｑ	31,227,925株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は平成24年7月11日付で終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
（５）その他 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（７）重要な後発事象 …… 10
４．補足情報 …… 11
（１）連結売上高 …… 11
（２）店別売上高 …… 11
（３）商品別売上高 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年３月１日～平成24年５月31日）におけるわが国経済は、震災復興の動きに合わせた個人消費の持ち直し、企業収益の向上などもあり緩やかな回復基調で推移しましたが、いったん落ち着いていた欧州財政危機の再燃、国内では、電力料金の値上げ申請や電力供給に関する問題などもあり、今後の景気回復は依然不透明な状況にあります。

百貨店業界におきましては、春物ファッション商材に活発な動きが見られたことや昨年３月に発生した東日本大震災にともなう消費自粛ムードの反動で当連結累計期間の３月、４月には全国百貨店売上高は前年実績を上回りました。

このような状況の下、当社グループの百貨店業につきましては、昨年３月に東日本大震災にともない不規則に実施された計画停電による臨時休業や営業時間の大幅な短縮を余儀なくされたことの反動などにより、売上高は前年同四半期比104.4%と増収となりました。また営業利益についても、震災を契機に実施している節電をはじめとしたローコストオペレーションをさらに徹底したことから、前年同四半期比286.5%と増益となり前年同四半期比を大幅に上回りました。

営業施策面に関しては、当社の創業140周年記念特別企画として各地で話題の商品を数多く取り揃え各店にて開催した、北海道物産展、九州物産展などの大型催事は多くのお客様にご来場いただき入店客数の増加に寄与しました。またテレビやインターネット等で話題となった「マダムシンコ」の人気商品“マダムブリュレ”や「ガトーフェスタ・ハラダ」の人気商品“グーテ・デ・ロワ”の特別販売会には、各店とも幅広い年齢層のお客様に多数ご来店いただき連日行列が出来るほど盛況となりました。さらに昨年６月から偶数月の15日にシニア世代（65歳以上）限定で販売しご好評いただいている「スマイルシニアデーお買い物券」の販売枚数を４月から増やし、シニア世代向けサービスの内容の充実を図ったほか、５月23日からは、さいか屋カード会員様向けのお中元の取組みとして「早期承りボーナスポイントフェア」を実施しております。このほか、創業140周年に合わせて手提げ紙袋のデザインを刷新し、22年ぶりのリニューアルをおこなうなどお客様にお買物を楽しんでいただけるような施策を順次実施いたしております。

各店別では、川崎店においては、当社の営業施策である「お客様のニーズにあった大型テナント店の誘致」の一環として平成22年に誘致した「カルディコーヒーファーム」、「サカゼン」をはじめとするテナントが定着し、継続的に来店客数や売上高の増加に寄与しております。横須賀店においては、４月に初めての試みとして、京急百貨店と合同で観音崎京急ホテルにて宝飾品の催事を開催いたしました。また５月にご好評いただいております「グルメ当日お届け便」の受付時間を午後４時まで延長し、更なるお客様の利便性の向上に努めました。藤沢店においては、５月には、「シニアのための美と健康フェア」を初開催し、多くのシニア世代のお客様にご来店いただきました。さらに、新たなお客様のご来店の促進と店舗の活性化を図るため「成城石井」を誘致いたします。（※「成城石井」は平成24年６月27日オープン）

また、全社的な取組みとしては、事業再生計画達成のための業務運営方針“ＳＵＰＥＲ７“に基づき、重点戦略に係る課題などについて共通認識のうえ、全力をあげて施策の推進に取り組み、営業力の強化に努めております。

なお財務面に関して、東日本大震災の発生により、その後の当社に及ぼす影響の度合いが予測出来ない中では資金的リスクが大きいと判断し、当初、事業再生計画に基づき返済予定であった借入金1,555百万円について、平成25年３月末日まで返済猶予をお願いし取引金融機関から同意をいただいておりましたが、平成24年３月30日までに完済しております。

この結果、当第１四半期連結累計期間の連結業績は売上高9,871百万円（前年同四半期比104.4%）、営業利益283百万円（前年同四半期比286.5%）、経常利益208百万円（前年同四半期比40,316.3%）、四半期純利益は211百万円（前年同四半期は18百万円の四半期純損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産24,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ477百万円減少しました。これは主に、借入金の返済等に伴う現金及び預金の減少によるものです。負債については、前連結会計年度末に比べて684百万円減少し21,793百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べて206百万円増加し2,832百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第１四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第１四半期連結累計期間末に比べ1,463百万円減少し、1,610百万円となりました。これは主に長期借入金の返済等によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、306百万円（前年同四半期比186.2%）の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益208百万円および減価償却費262百万円の増加、ならびに売上債権の増加額123百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、71百万円（前年同四半期は234百万円の収入）の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出81百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、999百万円（前年同四半期比383.0%）の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,041百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成24年４月11日に公表いたしました第２四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第１四半期連結会計期間において、重要性が増したため株式会社さいか屋友の会を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月4日）を適用しております。

（５）その他

当社は、シダックス・コミュニティー株式会社から、同社が当社横須賀店南館内に賃借のうえ、現在も引続き営業しているカラオケ店の賃料について、平成22年11月10日付で賃料減額の確認を求める訴訟の提起を受けております。

当社は、両社間での契約事項には何ら問題なく、解決に向け誠実に協議を続けてまいりましたが、シダックス・コミュニティー株式会社が主張している主要部分が事実と異なっていることなどから、上記訴訟の減額確認請求には理由がないと考えております。

なお、本件による当社業績への影響はないと認識しておりますが、万が一影響が出た場合は、速やかにお知らせいたします。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,327,498	1,700,501
受取手形及び売掛金	759,627	882,775
商品	1,574,231	1,625,365
貯蔵品	48,412	51,109
その他	369,379	362,133
貸倒引当金	△2,080	△1,170
流動資産合計	5,077,069	4,620,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,589,424	9,377,394
土地	7,574,679	7,574,679
リース資産（純額）	58,145	53,074
その他（純額）	59,427	55,050
有形固定資産合計	17,281,677	17,060,199
無形固定資産		
その他	118,033	113,611
無形固定資産合計	118,033	113,611
投資その他の資産		
投資有価証券	308,584	295,731
敷金及び保証金	2,025,455	2,252,005
破産更生債権等	38,964	36,871
その他	276,128	268,993
貸倒引当金	△27,893	△26,957
投資その他の資産合計	2,621,239	2,826,645
固定資産合計	20,020,951	20,000,456
繰延資産		
社債発行費	5,306	4,233
繰延資産合計	5,306	4,233
資産合計	25,103,326	24,625,404

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形	53,580	54,335
買掛金	2,812,527	3,041,946
短期借入金	98,800	97,000
1年内返済予定の長期借入金	991,618	－
1年内償還予定の社債	240,000	190,000
未払法人税等	15,636	7,574
賞与引当金	24,840	48,112
商品券回収損引当金	618,397	622,128
事業構造改善引当金	26,554	25,739
その他	1,985,944	2,080,099
流動負債合計	6,867,898	6,166,937
固定負債		
社債	140,000	45,000
長期借入金	13,999,124	14,144,124
繰延税金負債	233,131	228,374
退職給付引当金	413,835	412,434
資産除去債務	195,130	195,960
その他	628,083	600,214
固定負債合計	15,609,305	15,626,108
負債合計	22,477,204	21,793,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△905,796	△686,043
自己株式	△41,419	△41,435
株主資本合計	2,635,154	2,854,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,032	△22,532
その他の包括利益累計額合計	△9,032	△22,532
純資産合計	2,626,122	2,832,358
負債純資産合計	25,103,326	24,625,404

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年５月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年５月31日）
売上高	9,456,773	9,871,075
売上原価	7,337,434	7,632,911
売上総利益	2,119,338	2,238,164
販売費及び一般管理費	2,020,270	1,954,352
営業利益	99,067	283,811
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,211	2,058
負ののれん償却額	3,563	3,563
受取手数料	4,104	1,277
還付加算金	－	4,459
その他	2,760	2,696
営業外収益合計	14,639	14,054
営業外費用		
支払利息	99,167	80,936
その他	14,022	8,054
営業外費用合計	113,189	88,991
経常利益	518	208,874
特別利益		
固定資産売却益	105,619	－
事業構造改善引当金戻入額	10,608	－
特別利益合計	116,228	－
特別損失		
貸倒引当金繰入額	2,648	－
災害による損失	15,234	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71,044	－
特別損失合計	88,927	－
税金等調整前四半期純利益	27,819	208,874
法人税、住民税及び事業税	1,840	1,885
法人税等調整額	44,420	△4,756
法人税等合計	46,260	△2,871
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△18,441	211,745
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△18,441	211,745

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年５月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年５月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△18,441	211,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,730	△13,500
その他の包括利益合計	△44,730	△13,500
四半期包括利益	△63,172	198,245
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△63,172	198,245
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年５月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,819	208,874
減価償却費	291,313	262,159
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,005	△1,846
商品券回収損引当金の増減額（△は減少）	6,036	3,731
賞与引当金の増減額（△は減少）	20,018	23,272
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1,686	△1,400
受取利息及び受取配当金	△4,211	△2,058
支払利息	99,167	80,936
有形固定資産売却損益（△は益）	△105,619	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71,044	－
売上債権の増減額（△は増加）	△40,411	△123,147
たな卸資産の増減額（△は増加）	42,689	△52,454
仕入債務の増減額（△は減少）	155,437	230,174
その他	△269,378	△212,346
小計	293,224	415,894
利息及び配当金の受取額	4,211	1,950
利息の支払額	△124,287	△104,145
事業構造改善支出	△1,576	－
法人税等の支払額	△6,979	△7,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,592	306,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,223	△90,000
定期預金の払戻による収入	28,918	100,000
有形固定資産の取得による支出	△2,437	△81,579
有形固定資産の売却による収入	248,042	－
投資有価証券の取得による支出	△148	△148
貸付けによる支出	△340	－
貸付金の回収による収入	62	21
差入保証金の差入による支出	△18,918	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	234,956	△71,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,100	△1,800
長期借入れによる収入	225,000	195,000
長期借入金の返済による支出	△254,411	△1,041,618
社債の償還による支出	△225,000	△145,000
リース債務の返済による支出	－	△5,671
その他	△4,322	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260,833	△999,105
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	138,715	△764,393
現金及び現金同等物の期首残高	2,935,586	2,327,498
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	47,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,074,301	1,610,501

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成23年３月１日 至平成23年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	百貨店業	金融業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	9,455,743	1,029	9,456,773	―	9,456,773
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,385	6,525	7,910	△7,910	―
計	9,457,129	7,555	9,464,684	△7,910	9,456,773
セグメント利益又は損失(△)	102,268	△5,643	96,625	2,442	99,067

（注）１.セグメント利益又は損失の調整額2,442千円は、セグメント間取引消去であります。
２.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成24年３月１日 至平成24年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	百貨店業	金融業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	9,870,271	804	9,871,075	―	9,871,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	419	6,526	6,945	△6,945	―
計	9,870,690	7,330	9,878,021	△6,945	9,871,075
セグメント利益	281,757	554	282,311	1,500	283,811

（注）１.セグメント利益の調整額1,500千円は、セグメント間取引消去であります。
２.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
３.当第１四半期連結会計期間において連結の範囲に含めました株式会社さいか屋友の会は、百貨店業に含めております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自 平成24年３月１日 至 平成24年５月31日）

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

（１）連結売上高の内訳

	前年同四半期（平成24年２月期第１四半期）		当四半期（平成25年２月期第１四半期）		前年増減対比	
	売上高（千円）	構成比（%）	売上高（千円）	構成比（%）	前年増減額（千円）	前年対比（%）
㈱さいか屋	9,456,974	98.4	9,857,142	98.0	400,167	104.2
アルファトレンド㈱	143,578	1.5	184,233	1.8	40,655	128.3
㈱エーエムカードサービス	7,555	0.1	7,330	0.1	△225	97.0
㈱さいか屋友の会	－	－	5,348	0.1	－	－
小　　計	9,608,108	100.0	10,054,054	100.0	445,945	104.6
内部売上高の消去	△151,334	－	△182,978	－	△31,643	120.9
合　　計	9,456,773	－	9,871,075	－	414,301	104.4

（参考）㈱さいか屋友の会の前連結会計年度第１四半期の売上高は5,295千円で全額内部売上高になります。

（２）店別売上高（単体）

	前年同四半期（平成24年２月期第１四半期）		当四半期（平成25年２月期第１四半期）		前年増減対比	
	売上高（千円）	構成比（%）	売上高（千円）	構成比（%）	前年増減額（千円）	前年対比（%）
川崎店	2,502,929	27.2	2,803,291	29.3	300,361	112.0
横須賀店	2,635,669	28.7	2,636,968	27.5	1,298	100.0
藤沢店	3,729,039	40.6	3,825,077	40.0	96,037	102.6
町田ジョルナ	317,560	3.5	305,816	3.2	△11,744	96.3
小　　計	9,185,198	100.0	9,571,153	100.0	385,954	104.2
テナント及び手数料収入	271,775	－	285,989	－	14,213	105.2
合　　計	9,456,974	－	9,857,142	－	400,167	104.2

（３）商品別売上高（単体）

	前年同四半期（平成24年２月期第１四半期）		当四半期（平成25年２月期第１四半期）		前年増減対比	
	売上高（千円）	構成比（%）	売上高（千円）	構成比（%）	前年増減額（千円）	前年対比（%）
衣料品	2,818,532	30.7	3,144,334	32.8	325,801	111.6
身回品	707,241	7.7	724,438	7.6	17,196	102.4
雑貨	1,214,191	13.2	1,308,919	13.7	94,728	107.8
家庭用品	286,194	3.1	280,074	2.9	△6,119	97.9
食料品	3,301,469	35.9	3,147,004	32.9	△154,464	95.3
食堂・喫茶	289,044	3.2	326,833	3.4	37,788	113.1
その他	568,524	6.2	639,547	6.7	71,023	112.5
合　　計	9,185,198	100.0	9,571,153	100.0	385,954	104.2

外商扱高	1,943,657	21.2	1,918,305	20.0